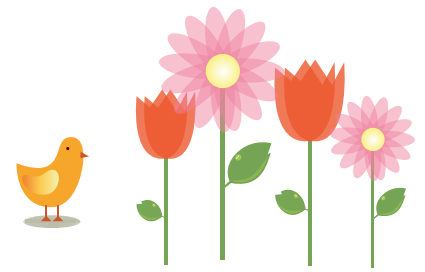


6 おたふく風邪（ワクチン）



おたふく風邪＝流行性耳下腺炎＝ムンプス、いろいろと呼び名はありますが、耳の下の耳下腺が腫れる病気です。

この病気、予防接種を受けられている方はどれくらいいらっしゃいますか？

中には「えっ、おたふくって予防接種があるの？」という人もいるかもしれません

また、あるのは知っていても、自費での接種であり、周りからも「かかっちゃった方がいいよ」と言われている人も多いかもしれませんね。

受けた方が良いのか、それとも受けなくても良いのか、次に示す数字をみて考えてみてください。

《おたふく風邪について》

2歳以下では症状が出なく終わる人も多いですが、それ以上の年齢では多くが耳下腺が腫れて、8割の人は発熱を伴います。

髄膜炎の合併症は頻度が高く10人に1人程度です（頭痛、首が硬いなどの症状がなくても、検査をすれば50%以上の方が髄膜炎にかかっています）

難聴は以前は1万人に1人程度と言われましたが、実際には100人に1人程度とも言われています（海外の教科書では25人に1人とも書かれています）。片側が多いのですが、なってしまうとほとんどの人が一生治りません。

年長児は成人では25%の男の人が睾丸炎（激痛です）、女性では30%が乳腺炎、5%に卵巣炎を合併します。

お父さん、お母さん、お子さんへのおたふく風邪ワクチン接種を考えてみてくださいね。